



かながわグランドデザイン

実施計画（素案） 概要版



ごあいさつ

神奈川県では、2012(平成24)年に「かながわグランドデザイン 基本構想」及び「かながわグランドデザイン 実施計画」を策定し、県が進める政策をお示するとともに、様々な課題への対応を着実に進めてきました。

このたび、「実施計画」の計画期間が2014(平成26)年度に終了したことから、新たに第2期目の「実施計画」を策定することとし、素案をとりまとめ、皆様にご覧いただけるよう概要をまとめたリーフレットを作成しました。

新たな「実施計画」では、今までの取組みで築いた基盤の上に立って、超高齢社会を乗り越え、神奈川の魅力をさらに高めていくため、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現に向け、より力強く歩みを進めていきたいと考えています。

そうした思いから、プロジェクト編では、「健康長寿」、「経済のエンジン」、「安全・安心」、「ひとのチカラ」、「まちづくり」の5つの柱のもと重点的に取り組む23のプロジェクトをお示ししています。

幅広く皆様からのご意見をお伺いし、新たな「実施計画」の策定につなげたいと考えています。積極的なご意見、ご提案をお待ちしています。

平成27年4月

神奈川県知事 山野 哲也

Kanagawa Grand Design

県民の皆さまから
ご意見を募集します!

かながわグランドデザイン

実施計画を策定します

実施計画の性格と役割

新たな「実施計画」は、2025(平成37)年を目標年次とした「基本構想」の実現に向けて、2015(平成27)～2018(平成30)年度の4年間に取り組む政策を示したものです。

県の重点政策を分野横断的にまとめ、ねらいや具体的な取組み、工程などを示した「プロジェクト編」と、県の政策の全体像を総合的・包括的に示した「主要施策編」で構成しています。

この「実施計画」を示すことにより、県民、NPO、企業、団体、市町村などと、県の政策について、情報や目的の共有化を図り、県民総力戦による取組みを進めます。

基本構想 (平成24年3月策定)

目標年次 2025(平成37)年

●基本理念

「いのち輝くマグネット神奈川」を実現する

●神奈川の将来像

- 行ってみたい、住んでみたい、人を引きつける魅力あふれる神奈川
- いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川
- 県民総力戦で創る神奈川

●政策の基本方向

- 政策展開の基本的視点
- 政策分野別の基本方向
- 地域づくりの基本方向

※今回は策定しません

実現するための計画

実施計画(素案)

計画期間

2015(平成27)～2018(平成30)年度

●プロジェクト編

- 柱Ⅰ 健康長寿
- 柱Ⅱ 経済のエンジン
- 柱Ⅲ 安全・安心
- 柱Ⅳ ひとのチカラ
- 柱Ⅴ まちづくり

■神奈川の戦略

●主要施策編

- (1) 政策分野別の体系
- (2) 地域別の体系

めざすべき4年後の姿

1 未病を治し健康長寿の神奈川

未病を治し、高齢になっても誰もが生き生きと健康に暮らし、長生きできる神奈川を実現します。

2 最先端技術が集積し活力あふれる神奈川

最先端技術を集積し3つの特区を活用するとことにより、経済のエンジンを回すとともに、雇用の創出を図り、活力あふれる神奈川を実現します。

3 世界の中で存在感を発揮する神奈川

新たな観光魅力づくり、観光プロモーションの強化、文化芸術の振興などに取り組み、その存在感を国内外に力強く示す神奈川を実現します。

4 安全で安心してくらせる神奈川

地震や津波などの災害や犯罪、交通事故などへの対策をより一層強化し、県民のいのちを守り、安全で安心してくらせる神奈川を実現します。

5 ひとのチカラを最大限に生かす神奈川

年齢や性別に関わらず誰もがそのチカラを最大限に発揮し、一人ひとりが輝く神奈川を実現します。

6 個性が輝き魅力あふれる「まち」神奈川

地域の個性が輝き、自然・環境など人を引きつける魅力にあふれた神奈川を実現します。

「いのち輝くマグネット神奈川」を実現します

「いのち輝くマグネット神奈川」とは・・・

県民が生きている喜びを実感し、生まれてよかった、長生きしてよかったと思えること、人やものを引きつけるマグネットの力を持ち、住んでみたい、何度も訪れてみたいと思う魅力にあふれているということです。

県民一人ひとりのいのちを輝かせるとともに、人やものを引きつける魅力を持った神奈川の実現をめざします。

実施計画

プロジェクト編

プロジェクトは、喫緊の課題に対応するため、先進性や発展性を持った重点施策を分野横断的にとりまとめ、「いのち輝くマグネット神奈川」を実現していくための具体的な取組みとねらい、工程などを示したものです。

政策のまとめりごとに5つの柱を立て、23のプロジェクトを位置づけました。

柱 I

健康長寿

子どもと高齢者の交流型レクリエーション教室

PJ 1 未病

健康寿命を延伸し、生き生きとくらせる神奈川をめざして

- 未病を治す取組みを支える社会環境の整備
- 未病を治すために重要な、食、運動、社会参加など生活習慣改善の支援
- 健康情報の活用による効果的な施策

未病とは・・・

健康状態は「ここから健康で、ここから病気になる」という区分はできず、健康と病気の間で連続的に変化しています。

こうした変化の過程を「未病」と呼んでおり、より健康な状態に近づける取組みを「未病を治す」と表現しています。

健康 未病 病気

PJ 2 医療

最先端医療の追求と安心できる地域医療の充実

- 最先端医療の推進
- 県民への適切な医療提供体制の整備・充実
- 医療人材の育成・確保

PJ 3 高齢者福祉

高齢者を標準として、誰もが生き生きとくらせる神奈川をめざす

- 地域包括ケアシステムの構築
- 認知症の人や家族などに対する総合的な支援
- 健康・生きがいづくり

PJ 4 障がい者福祉

障がい者の地域生活の推進

- 福祉サービスの充実・社会環境の整備
- 社会参加や就労の支援
- 障がい者に対する理解促進と権利擁護



「神奈川県障害者スポーツ大会」の様子

柱 II

経済のエンジン

生活を支えるロボットと成長産業の創出を促すライフイノベーションセンター

PJ 5 エネルギー

かながわスマートエネルギー計画の推進

- 再生可能エネルギー等の導入加速化
- 安定した分散型電源の導入拡大
- 省エネルギーの促進とスマートコミュニティの形成

PJ 6 産業創出

明日の県内経済を担う産業づくり

- 成長産業の創出・育成
- 企業誘致などによる産業集積の促進
- 技術の高度化・科学技術研究の推進

PJ 7 海外展開

海外との交流による地域の活性化

- 企業の海外展開支援と外国企業の誘致
- 海外とのネットワークの構築・推進



海外での経済セミナー

PJ 8 観光

観光立県かながわの実現をめざして

- 外国人観光客の誘客促進
- 国内観光客の誘客促進
- 新しい観光魅力づくり



様々なマリンスポーツ

PJ 9 マグカル

文化芸術の魅力で人を引きつけるマグカルの推進

- マグカルの全県展開
- マグカルを担う人づくり
- 地域における文化芸術活動に対する支援

マグカルとは・・・

「マグネット・カルチャー」の略。神奈川の文化芸術の魅力で人を引きつける、地域の賑わいを創出する取組みです。



マグカル劇場「青少年のための芝居塾」

PJ 10 農林水産

農林水産業の活性化による地産地消の推進

- 県民ニーズに応じた農林水産物の生産支援と利用促進
- 新たな担い手の育成・確保の推進

柱 III

安全・安心

ヘリによる救助訓練(ビッグレスキューかながわ)

PJ 11 減災

災害に強いかながわ

- 自助・共助の取組み促進
- 災害対応力の強化
- 災害に強いまちづくり



地震発生時の安全確保(シェイクアウト訓練)

PJ 12 治安

犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり

- 犯罪などの起きにくい地域社会づくり
- 県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙活動の強化及び交通事故の防止
- 犯罪被害者などへの支援



県民の安全・安心を守る白バイの姿

柱 IV

ひとのチカラ

ALT(外国語指導助手)による授業

PJ 13 女性

女性も男性も共に活躍できる社会づくり

- 誰もが個性と能力を発揮できる社会づくり
- 仕事と子育てや介護を両立できる環境づくり
- 配偶者などからの暴力防止と被害者への支援

PJ 14 子ども

子どもが健やかに成長できるかながわをめざして

- 子ども・子育て支援と結婚から育児までの切れ目ない支援
- 支援を必要とする子どもを守る体制づくり
- 子ども・若者の社会的自立の支援



子育て応援キャラクター

PJ 15 教育

明日のかながわを担う人づくり

- 一人ひとりの生きる力を高める学校教育の推進
- 児童・生徒などが学ぶ教育環境づくり

PJ 16 スポーツ

健康で豊かな人生を築くスポーツ振興

- 生涯を通じたスポーツ活動の推進
- スポーツ活動を広げる環境づくりの推進
- オリンピック・パラリンピックなどを盛り上げていく取組み

PJ 17 雇用

一人ひとりが輝きながら働ける神奈川

- 産業を支える人材の育成
- 就業支援の充実
- 外国人材の育成・活用



建物施工の職業訓練の様子



まちづくり

建設中の新東名高速道路

PJ 18 地域活性化

地域資源を生かした地域活性化をめざして

- 県西地域活性化プロジェクトの推進
- 三浦半島の資源を生かした地域の活性化
- 地域のマグネットとなる魅力づくり

PJ 19 多文化共生

多文化共生の地域社会づくり

- 外国籍県民がくらしやすい環境づくり
- 留学生支援の充実
- 多文化理解のさらなる推進



あーすフェスタかながわ

PJ 20 協働連携

NPOの自立的活動の促進と協働型社会の実現をめざして

- NPOの自立的活動に向けた支援
- NPOなど多様な主体による協働の推進
- 県と企業、大学などとの連携の推進

PJ 21 自然

多様な生物を育む自然環境の保全と活用

- 森林の保全・再生
- 里地里山の保全・活用
- 都市のみどりの保全・活用
- 人と動物との共生

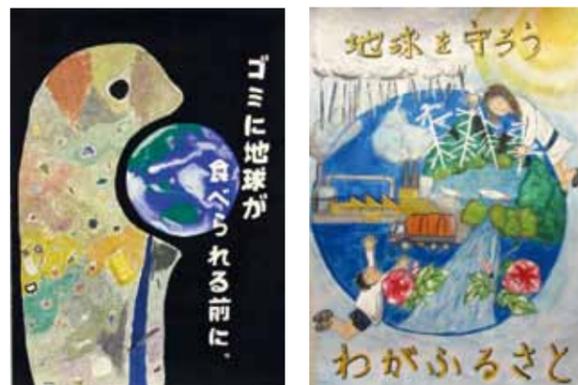


森林整備により回復した下層植生(秦野)

PJ 22 環境

持続可能な社会の実現

- 環境に配慮する活動への参画推進
- 資源循環・適正処理の推進
- 大気環境保全の推進



かながわ環境ポスター・標語コンクール入賞作品

PJ 23 都市基盤

活力と魅力あふれるまちづくりと交通ネットワークの充実

- 交流と連携を支える道路網の整備と活用
- 交流と連携を支える鉄道網の整備
- 国際競争力の強化に向けた空港施策の充実
- 持続可能な魅力あるまちづくりの推進

神奈川の戦略

深刻な人口減少社会など非常に大きな課題を乗り越えるために、複数のプロジェクトを複合的に実施する取組みを「神奈川の戦略」としてまとめました。

ヘルスケア・ニューフロンティアの推進

「最先端医療と最新技術の追求」と「未病を治す」という2つのアプローチを融合することで、健康寿命日本一と新たな市場・産業の創出に取り組む「ヘルスケア・ニューフロンティア」を、国家戦略特区をはじめとする3つの特区を最大限活用して進め、誰もが健康で長生きできる社会をめざします。

<具体的な取組み>

- ① 最先端医療産業の創出
- ② 未病産業の創出
- ③ ヘルスケア・ロボット産業の創出
- ④ イノベーションを支える基盤づくり

構成するプロジェクト

- PJ 1 未病
- PJ 2 医療
- PJ 3 高齢者福祉
- PJ 4 障がい者福祉
- PJ 6 産業創出
- PJ 7 海外展開
- PJ 16 スポーツ
- PJ 18 地域活性化

ロボットと共生する社会の実現

「さがみロボット産業特区」を中心に、分野横断的に幅広くロボットの実用化や普及・活用の取組みを進めることで、「メイド・イン・神奈川」のロボットが様々な形で社会にとけ込み、人々のいのちや生活を支えるロボット革命の実現に挑戦していきます。

<具体的な取組み>

- ① 様々な分野におけるロボットの普及促進
- ② ロボットがとけ込む社会の実現

構成するプロジェクト

- PJ 1 未病
- PJ 2 医療
- PJ 3 高齢者福祉
- PJ 4 障がい者福祉
- PJ 6 産業創出
- PJ 11 減災
- PJ 12 治安
- PJ 23 都市基盤

グローバル戦略の推進

神奈川の魅力や先進的な取組みを世界に強力に発信し、本県の強みを生かした積極的な国際施策を展開するとともに、グローバル人材の育成や多文化共生社会づくりに積極的に取り組むことにより、神奈川の地域や経済の活性化につなげます。

<具体的な取組み>

- ① 神奈川の強みを生かした国際展開～神奈川の先進性や魅力の海外発信
- ② “人”を育て、“人”をつなげる～未来につながる国際ネットワークづくり
- ③ 多文化共生社会の実現

構成するプロジェクト

- PJ 7 海外展開
- PJ 8 観光
- PJ 9 マグカル
- PJ 15 教育
- PJ 16 スポーツ
- PJ 19 多文化共生

地方創生の推進

人口減少克服・地方創生という構造的な課題に正面から立ち向かい、超高齢社会を力強く乗り越える取組みに挑戦していきます。

<具体的な取組み>

- ① 神奈川への新しいしごと・ひとの流れをつくる
- ② 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ③ 地域資源を活用したプロジェクトの推進

構成するプロジェクト

- PJ 6 産業創出
- PJ 8 観光
- PJ 10 農林水産
- PJ 13 女性
- PJ 14 子ども
- PJ 17 雇用
- PJ 18 地域活性化
- PJ 23 都市基盤

主要施策編

主要施策

主要施策は、プロジェクトで取り組むものも含め、県が着実に実施していく施策・事業を体系化することにより、県の政策の全体像を総合的・包括的に示したものです。

(1) 政策分野別の体系

- | | |
|------------|--------------|
| I エネルギー・環境 | V 教育・子育て |
| II 安全・安心 | VI 県民生活 |
| III 産業・労働 | VII 県土・まちづくり |
| IV 健康・福祉 | |

各地域で展開する施策・事業

(2) 地域別の体系

- 川崎・横浜地域圏
- 三浦半島地域圏
- 県央地域圏
- 湘南地域圏
- 県西地域圏

「かながわグランドデザイン 実施計画（素案）」に対する ご意見・ご提案をお寄せください。

ご意見・ご提案の募集期間 平成 27 年5月 21日(木)まで

ご意見・ご提案は「**かながわグランドデザイン 実施計画(素案)**」と明記して、
次のいずれかの方法でお寄せください。

手紙

〒231-8588 神奈川県政策局政策部総合政策課（所在地は省略できます）

※県の施設、市町村の窓口などにある「わたしの提案（神奈川県への提言）」の専用封筒をご利用いただくこともできます。この封筒をご利用の際には、封筒のあて先欄に「政策局政策部総合政策課」と明記して下さい。

ファクシミリ

045-210-8819

インターネット

次の総合政策課のホームページの問い合わせフォームをご利用いただけます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/div/0102/>

●「かながわグランドデザイン 実施計画(素案)」に対する意見・提案

この冊子は「かながわグランドデザイン実施計画（素案）」を要約した概要版です。素案の詳細については、県政情報センター、各地域県政情報コーナーにおいて冊子として閲覧できるほか、次のホームページでもご覧になれます。

ホームページ
への
アクセス

かながわグランドデザイン
実施計画（素案） <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4895/p898254.html>

かながわグランドデザイン <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4895/p434921.html>



神奈川県

【発行】 政策局政策部総合政策課

横浜市中区日本大通 1 TEL 045-210-3061 FAX 045-210-8819